

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第1学年 「国語（三省堂）」

98時間（70%）

週	重点に置く指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	Cア 伝イ（ア） Cウ	新しい世界へ	朝のリレー	1	・表現に着目しながら読み、コラムを参考にして自分なりに朗読することを中心の活動とする
			オオカミの友だち	3	・場面や登場人物の心情や行動の変化に着目して、内容を読み取る方法を指導する
2	Aウ	1 わかりやすく伝える	聞き上手、話し上手になるためにスピーチ	3	・実験1、2で、話し手、聞き手の技を指導する ・教師がテーマを与え、300字程度の簡単なスピーチとする（状況によっては時期を入れ替える）
			Cエ	ペンギンの防寒着 【説明文の基本構造】	4
クジラの飲み水	・「学びをひろげよう」のどちらかの課題に取り組み、読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉えさせることを中心の活動とする				
3	伝イ（エ）	1 わかりやすく伝える	文法のまど1 ことばの単位・文節の関係	1	・216ページ以降の解説を参考に、文法とは何かをおさえた上で、言葉の単位を指導する（→参考：県教委オンラインサポート授業） ・「確認しよう」は家庭での課題とし、後日確認する
			4	調べたことを整理して、わかりやすくレポート	5
5	伝ウ（アイ）	2 かかわりをとらえる		漢字のしくみ1 活字と手書き文字・画数・筆順	1
			Cウオ	空中ブランコ乗りのキキ 【人物相関図】	4
6	伝イ（ア）	2 かかわりをとらえる	ことば発見1 音声のしくみとはたらき	1	・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
			Aエ	チームの力を引き出す 質問	3
7	Cカ	2 かかわりをとらえる	[読書] 字のない葉書	2	・一読し、あらすじを捉え、簡単な感想をまとめた後、随筆の特徴について理解させる ・「小さな図書館」を参考に、学校図書館を活用して随筆を選書し、興味をもった表現を引用して紹介する（本を読むのは家庭での課題とする）
			読書活動「読書郵便」を楽しもう		
8	伝イ2年	3 情報を読み解く	食感のオノマトペ 【図表と文章】	4	・事実と意見、図表の役割を中心に指導する
			Bイエ	ことば発見2 話しことばと書きことば 目的や相手に応じて、情報を編集する 行事案内リーフレット	4
9	伝イ2年	3 情報を読み解く	漢字のしくみ2 部首と成り立ち	1	・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
			10	古典に学ぶ	月を思う心
Cアエ 伝ア（アイ）	竹取物語 古典情報 古典の仮名遣い	・115ページ「古典の仮名遣い」を使って、歴史的仮名遣いを確認し、リズムに注意して朗読することを中心の活動とする			
11	書写	楷書	故事成語一矛盾 古典情報 漢文の読み方	3	・故事成語は生活の中に生き続けていることをおさえ、漢文独特の言い回しに読み慣れる ・いくつかの故事成語を提示し、自分の体験と結びつけた短文を書くことを中心の活動とする
			書写	3	・楷書の筆遣い、字形、文字の大きさ、配列の指導を中心に指導する
12	Cイオ 伝イ（エ）	4 論理的に考える	玄関扉 【三角ロジック】	4	・事実と筆者の意見と理由を読み分けて、文章の要旨を捉えることを中心の活動とする ・玄関扉の例と同じような文化の違いを生活の中から見つけ、自分の考えをもたせる
			ことば発見3 接続する語句・指示する語句	1	・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
13	Aイウオ Bオ	4 論理的に考える	論理で迫るか、感情に訴えるか 討論ゲーム	4	・「論理で迫る」と「感情に訴える」ことのポイントをおさえ、それぞれの長所と短所を考えることを中心の活動とする
			表現プラザ① 変わり身の上話	1	・なり変わったものの立場から想像を広げ、身の上話を書かせた後、互いに読み合うことで自分の表現の参考にさせることに重点を置いて指導する

14	書写	行書①		3	・行書とは何かをおさえ、丸み、点面の連続を中心に指導する(毛筆) (→参考「県教委オンラインサポート授業」)
	Cアエ Cオ	5 読みを深め合う	見えないだけ ことば発見4 比喻・倒置・反復・対句	1 1	・表現の特徴と効果について、自分の考えをもつことを中心の活動とする ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
15	Cウエオ		少年の日の思い出	5	・語り手に着目して読ませ、登場人物の考え方や表現の特徴について、自分の考えをもたせることを中心に指導する
16	伝イ(エ)		文法のまど2 単語の識別・品詞	1	・221ページ以降の解説を参考に、十種類の品詞とそれらの働きについて指導する ・「確認しよう」は家庭での課題とし、後日確認する
	Bウオ		多角的な視点で作品を読み解く 鑑賞文	4	・美術の教科書や学校図書館にある本から作品を選ばせ、特徴(根拠)を明確にして書かせる
17	書写	行書②		2	・点面の方向や形の変化を中心に指導する
	Cアオ	6 視野を広げる	この小さな地球の上で	4	・対比や思いを表す言葉、脚注の意味と文章中の意味などに着目させ、文章の要旨を捉えさせる ・地球や人間について、自分なりの考えをもたせることを中心の活動とする
18	Bアウ		思いや感覚に向き合い、考えを確かなものに 意見文	4	・日常生活の中から課題を見出し、「意見をつくる過程」を参考に、自分の考えをまとめさせる ・根拠を明確にした意見文を書くことを中心の活動とする
	Aウ 伝イ(ウ) 伝ウ(ア)		表現ブラザ② 即興劇にチャレンジ 漢字のしくみ3 漢字の音と訓	1 1	・例を参考に架空の場面を設定し、短い時間で即興劇を行う(実感させることをねらいとする) ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
19	Cアウエ	7 つながりを考える	トロッコ 【情景描写】	5	・情景や行動の描写に表現されている主人公の心情の変化を読み取ることが中心の活動とする(家庭での課題として、概要が理解できるワークシートを用意し、事前に音読させるようにする)
20	A B		一年間の自分とクラスを振り返って グループ新聞(※)	5	・1年間の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のまとめとし、生徒の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する
21	書写	一年間のまとめ		2	・(※)と関連させる(新聞を作成する際の見出し等)とよい

【時間数の精選方法(例)】

○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする

・各領域ともに、複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力(指導事項)を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、単元1「オオカミの友だち」では、指導事項ウの「場面の展開や登場人物の描写」を中心に指導し、単元5「少年の日の思い出」では、指導事項オ「文章に表れているものの考え方をとらえ、自分のものの考え方を広げる」のために、互いの意見を交流させる指導を行います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」も同様の考え方で。

○小単元をまとめて指導したり、家庭での課題にして補ったりする

・「漢字のしくみ」「ことば発見」「文法のまど」については、まず、指導内容が既習事項なのか、新しい内容なのかを確かめます。新しい内容の場合、あわせて指導できる内容があるかを考えます。練習問題については、教科書巻末の問題やワーク等を家庭の課題とすることで、授業時間の削減が可能となります。なお、家庭での課題とする場合、生徒の達成状況を把握し、個への支援が必要なこともあります。

○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が「読むこと」カ(※)になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力を向上させるのが望ましいとされます。また、「読書」「読書活動」では、学校図書館を活用し、家庭での読書を促し、幅広い読書をさせることが可能となります。

○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導については、中学1年生では、20単位時間程度行うものとあります。三省堂では、リーフレットを作成したり鑑賞文を書いたりする「書くこと」の領域の学習において、例えば、リーフレットの見出しの書き方や原稿用紙の書き方を通して、文字の大きさや配置・配列といった指導事項をおさえることが可能です。(本資料では、書写に取り立てた指導を10時間(50%)で作成しています。)

○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や生徒の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インタビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。

※本資料は、中学校学習指導要領(平成20年9月)によって作成しています。